

社会福祉法人 新清会 あさむつ通信

第 9 号 発行：平成 25 年 2 月 吉日



新事業所 二の丸苑

もくじ

- ◇ 理事長挨拶
- ◇ 二の丸苑開設
- ◇ 特別養護老人ホーム あさむつ苑
- ◇ 小規模特養 花むつ苑
- ◇ 小規模多機能ホーム みの里
- ◇ 平成 23 年度決算報告

苦情解決第三者委員会

- ◇ 酒井 郷衛 様
- ◇ 福野 家光 様
- ◇ 下川 道雄 様
- ◇ 吉田 幸美 様

- ◇ 特別養護老人ホーム あさむつ苑
 - あさむつ苑 ショートステイ
 - あさむつ苑 デイサービスセンター
 - あさむつ苑 居宅介護支援事業所
 - 福井市引目町21-9-2
- ◇ 小規模特別養護老人ホーム花むつ苑
 - 花むつ苑 ショートステイ
 - 花むつ苑 デイサービスセンター
 - 福井市花堂中1丁目5-6

- ◇ 二の丸苑
 - ショートステイ
 - デイサービスセンター
 - 小規模多機能ホーム
 - 福井市大手2丁目21-3
- ◇ 小規模多機能ホーム みの里
 - 福井市花堂中1丁目5-6
- ◇ 福井南包括支援センター
 - 福井市福1丁目1710

社会福祉法人 新清会



社会福祉法人 新清会
理事長 吉田 新内

ごあいさつ

向春の候、皆様、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
いつも何時も新清会とその事業所に対し心のこもった暖かいご指導、ご協力、
ご支援を賜りほんとうにありがとうございます。新しい年を迎える心より厚く
お礼申し上げます。

昨年末の、総選挙、その結果として、政権交代という大きな政治の流れができ
社会は激動の時代を迎える事となりました。原発の事や、消費税と社会保障の一
体改革等々大いに、注視していかなければならぬ問題が山積していると思
います。

その様な状況の中で介護の現場については、なお一層の厳しさが求められると
思っていますが、最も大切なことはサービス利用される方々に事業所や家族等の
関係する人が暖かい心の通った支援をすることだと考えています。

制度がどんなに整備され様と介護サービスを利用される高齢者の皆さんには、
ご家族の方の声かけが一番ですので、今後共一層の施設へ面会等のご協力を
お願い致します。

日々当法人の事業所をご利用頂いている中で、ご迷惑やご心配等々多く
あった事と存じます。ここに心から深くお詫び申し上げます。

本年も職員一丸となって研修を重ねて、楽しくて喜ばれて安心できる事業所を
目指して更なる努力をして参りますので、どうか今後共よろしくお願ひ申し上げ
ます。

皆々様にはまだまだ、寒さ厳しい季節、健康には充分気をつけられて本年も
幸多い一年となります様に御祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。



平成24年7月開設

ショートステイ
デイサービス
小規模多機能ホーム

二の丸苑

苑長 竹下 茂

「二の丸苑」は、住み慣れた街、住み慣れた自宅での暮らしが安心して継続できる、景観とアクセスに恵まれた介護施設として、県庁（元福井城）のすぐ裏に7月に開設しました。

福井城は、徳川家康の次男、結城秀康により北の庄城を取り込む形で慶長11年に新城として完成しました。明治4年の「廃藩置県」により廃城し、現在では県庁が置かれています。県庁のある本丸を中心に、現在は市街化されている外郭部の二の丸、三の丸で構成されていました。「二の丸苑」の名称は、この由緒正しき土地にちなんで名付けました。

周辺には福井藩主松平家の別邸で、国の名勝に指定されている養浩館など、すばらしい観光名所も残っています。また、春には県庁の満開の桜を楽しむことが出来ます。しかし、現在は過疎化が進んでおり、若者は離れ、老人のみの世帯がどんどん増加しているのが現状であります。

福井の歴史を物語るこの土地で、高齢者がいつまでも楽しく生活が送れるよう、私たち新清会は福井城の横に「二の丸苑」というお年寄りのお城を築きました。このお城「二の丸苑」は、ショートステイ、デイサービスセンター、小規模多機能ホームの3つの事業所で運営されています。

今後とも、ご利用者様、ご家族様に満足いただける施設となるよう、職員一同研鑽して行く所存ですので、地域の皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



二の丸苑号で職員一同 7月
から新事業所に向かって船出
しました。皆さん応援して下さい。

特別養護老人ホーム あさむつ苑

施設長 吉田 雅世

当施設では、介護職の介護力の専門性向上を目指しています。

平成 23 年 5 月より、全国老人福祉施設協議会主催の介護力向上講習会に参加し、現在 2 年目をむかえています。その取り組みの大きな目標として、利用者様のおむつ使用ゼロを目指すというケアです。

高齢になり、自宅での生活を困難にし、施設の入所を選択しなければならなくなる原因。それは自分でトイレに行けなくなる、排泄に障害が出来ることより、生活全般の 24 時間をオムツ等の排泄ケア用品の交換の必要性が出来ると言う事、最初はだれでも、オムツなんかいやだし、トイレに行きたいと、しかし歩けない、助けてもらえない、汚れる、など等の弊害により、オムツを使い、あきらめて毎日をすごしておられたのです。当たり前に、施設側もおむつを使用することが前提とした介護を続けていました。

介護報酬が改定されるたびに、質の高いケアサービスの提供をと、文言だけが独り歩きをしていたように感じながらも、ケアの質の向上の為に、研修や勉強を重ねてまいりましたが、実践に結びつく事が少なく私たち介護職は、これではいけない、自宅でご家族でも出来るおむつ交換・ご飯等の内容は、私たちが今後プロのケアスタッフとして報酬を請求し続けられる事に限界があるのではないか。

今ままのケア内容では、施設を利用される皆様が納得しないのではないか……。

ちょっとカッコつけて申し上げますが…利用される家族の皆様や利用者様が、「えっ、そんなことが出来るの?」「ほ~」と、感心していただける、「うちのおばあちゃん、あさむつ苑に入ったらおむつ外れたんやって~、うそお~」と自慢していただけるような、ちょっと感動していただけるような施設を目指しています。生活圏の地域の施設がその機能を有し、その技術とテクニックを持った介護力を身につけたスタッフがいる。自分がオムツになってしまってもその施設に行けばさっさとオムツを外してくれて、又、家に帰れる、というのが私たちの施設の現在実施している「介護力向上・おむつゼロ」の取り組みであるということです。

基本ケアとして、1 日 1500ml の水分摂取し、常食の提供、歩行訓練を中心とした活動量の増加を実施してトイレ又はポータブルトイレでの自然排便が出来るようになる、手法を実施しているということです。

日中おむつ使用から布パンツに変え、寝たきりであった方も介護職が二人がかりで移動し、トイレでの座位の排便実施。水分 1500ml の内容は、お茶、紅茶ジュースなど様々な種類を提供することで摂取量も増え、脱水傾向の方が見られなくなり風邪などの症状も軽減しています。刻み食やお粥でなく普通食に向けて胃ろう等の経管者の摂食嚥下機能回復を目標とし、口腔内マッサージや咀嚼訓練、座位保持訓練等を作業療法士、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、ケアマネジャー、介護スタッフのチームケアの一実施で取り組んでいます。現在、1 名の利用者様は経管栄養から 3 食すべて経口摂取になり、他 2 名の方も訓練中で昼食時のみ経口摂食が出来ています。近況の（平成 24 年 11 月 30 日現在）成果として平成 23 年の日中の排泄場所はトイレ又はポータブルトイレを使用する方は 70 人の内 54.3% でしたが、平成 24 年には 72.2% となり 17.9% の方が日中帯におむつの使用を取りやめる事が出来ました。

今後、この取り組みは継続され、おむつの使用が引き起こす「あきらめた生活」ではなく、「さっさと、あさむつへ行って、オムツを外して家に帰るぞ~」と思っていただける、地域の中の高齢者福祉の安心と信頼のセーフティネットとしての機能と役割を果たすために、スタッフ全員で取り組み、利用される方々の笑顔を取り戻したいと考えております。

平成 24 年 11 月 30 日現在

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
トイレ・P トイレ	31 人	35 人	52 人
オムツ	51 人	35 人	15 人
紙パンツ	14 人	30 人	9 人
布パンツ	5 人	5 人	43 人



リハビリ テーション



特養では、個別での機能訓練や集団レクレーション、作業療法（アクティビティ）などのリハビリを実施しています。今出来る機能を少しでも維持できるように、毎日楽しく体や指先を動かすお手伝いをさせて頂いております。また、個々の利用者様の状態に合わせて目標を設定し、スタッフ一丸となっての生活リハビリにも取り組んでおります。

今回はアクティビティについて少し紹介したいと思います。

現在、特養では季節にちなんだ塗り絵や貼り絵、折り紙などの作業活動を週に2回程度行っています。「機能の維持・向上」や「脳の活性化」・「精神状態の改善」などの目的のほかに、季節の移ろいを感じて頂き、昔のことを思い出したり懐かしんだりといった効果もあるかと思います。どの利用者様も作業中はとても真剣に黙々と取り組んでおられます。ひとつひとつの作業を達成したときには達成感とともに笑顔が見られ、特に貼り絵など共同での大作が完成した時は、皆様とても晴れ晴れとしたいい表情をされます。その笑顔になる瞬間が私自身とても嬉しく、これからも皆様に楽しんで頂けるような作業を提供していかなければと思っています。

(桜の貼り絵は約1カ月で完成した作品です)

作業療法士 山崎 真紀



次の作品作りに奮闘中

平成24年度 行事

敬老会



たこ焼き
焼けたかな

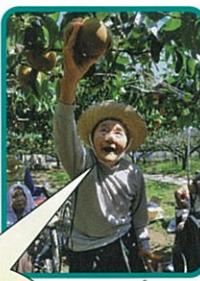
いつまでも元気でいて下さい。

イルカショー
凄いね～

松島水族館



梨狩会



お、大きな梨が
あったぞ



早くそうめん流して～

たこ焼きパーティ



運動会



お、大きな梨が
あったぞ



ハロウイン



赤、白今年の優勝はどっち？

何がもらえるのかな



作品作り たなばた



小規模多機能ホーム みの里

ぶどう狩り



管理者 堀川 豊和

新たな年を迎えることとなりましたが、昨年を振り返ると様々な出来事があり、町内の春祭りへの参加や夕涼み会の運営では自治会の皆様をはじめ多くの関係者のご協力を頂き実施する事ができました。また、新たな出会いや別れなど多くの事が思い出されます。その中でご利用者の方と共に過ごした時間は多くの楽しみを我々職員も共有する事が出来ました。

みの里の介護理念である

- 一、安心して安らげる生活の中でその人らしさを大切にしたケアを目指します。
 - 一、地域と関わりその人が喜びと生きがいのもてるケアを目指します。
 - 一、その人の生きる力、もっている力にやさしくそっと手を差しのべます。
- を基本にサービス提供してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



菊人形見学



社会福祉法人 新清会 苦情報告

苑内の苦情リスクには転倒や誤嚥、そして職員の接遇など多くあります。その中には避ける事の出来ない事故も多く含まれています。

再発防止の為に職員の意識向上を目指し、苑内・苑外研修等を行いました、苦情発生時にはすぐに対策協議を行っています。

私たちは、ご家族様の生の声を聞くことで、職員個々の責任感、意識の向上を図っていきたいと考えています。そして、今まで以上に苦情が言える環境をつくっていけるように第三者委員会の方々にもご協力を頂き、苦情の芽を小さい内に引き出し、解決していきたいと思います。

苦情件数（平成 24 年 1 月～12 月）

・特別養護老人ホーム

あさむつ苑

1 件（送迎時の職員のマナーについて）

デイサービス

3 件（利用後、衣類等の返還についてと送迎時の対応について）

ショート

1 件（利用時の職員の対応についての不満）

・小規模特別養護老人ホーム

花むつ苑

2 件（透析者の止血ベルト扱いについてと送迎車の道路への出入りについて）

平成23年度 決算報告

平成23年度決算を本会報に掲載します。
また、新清会本部(あさむつ苑)にて、平成23年度事業報告書、決算報告書等をご覧いただけます。

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	407,540	流動負債	194,266
現金預金	138,387	未払金	175,287
未収金	170,963	預り金	1,140
立替金	96,814	仮受金	17,839
前払金	384	固定負債	212,611
短期貸付金	117	備資金借入金	206,101
仮払金	874	退職給与引当金	6,510
固定資産	1,702,251	負債の部合計	406,877
基本財産	1,463,078	純資産の部	
その他の固定資産	239,173	基 本 金	340,303
		国庫補助金等特別積立金	530,529
		次期繰越活動収支差額	832,082
		(うち当期活動収支差額)	108,783
		純資産の部合計	1,702,914
資産の部合計	2,109,792	負債及び純資産の部合計	2,109,792

脚注: 減価償却累計 543,925円

現金預金の内、退職給与引当金充当 10,000,000円

ご寄付ありがとうございました。

庭の提案・施行・管理

白樺ガーデンモリヤマ 様より
福井市江端町22-38

お花の販売された代金を車いすとして還元していただいております。あさむつ苑におられる皆様に車椅子を3台ご寄付していただきました。

車椅子はフロワー1号、2号、3号と名づけさせていただき大事に使用させていただいております。



	勘定科目	当年度決算
計上活動による収支	介護保険収入	745,656,681
	経常経費補助金収入	23,981,096
	寄付金収入	420,000
	雑収入	1,323,359
	借入金利息補助金収入	367,575
	受取利息配当金収入	153,492
	経理区分間繰入金収入	129,913,252
	経常収入計(1)	901,815,455
	人件費	472,406,113
	事務費支出	49,661,255
支出	事業費支出	85,816,744
	借入金利息支出	3,960,444
	経理区分間繰入金支出	129,913,252
	経常支出計(2)	741,757,808
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	160,057,647
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)
	支出	固定資産取得支出
		施設整備等支出計(5)
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)
財務活動による収支	収入	その他の収入
		財務収入計(7)
	支出	借入金元金償還金支出
		その他の支出
		財務支出計(8)
		財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-41,023,058

前期末支払資金残高(12)	254,297,330
当期末支払資金残高(11)+(12)	213,274,272

編集後記

皆様にはお健やかに新年をお迎えなられたことと存じます。東日本大震災の暗い出来事から2年がたとうとしていますが、日本の力強い絆で復興してきています。これからは明るい話題があることを願いながら社会福祉法人 新清会は利用者様に少しでも喜んでいただける様に日々取り組んでおります。

平成24年7月には、福井市大手にショートステイ、デイサービスセンター、小規模多機能ホーム 二の丸苑を開設致しました。職員の増員をし、更なるサービスに向上に努めてまいります。

今後も広報にて利用者の皆様の日々の様子をお知らせしていきたいと思います。

編集担当 小泉